



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 株式会社スタートトゥデイ 上場取引所 東  
 コード番号 3092 URL http://www.starttoday.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前澤友作  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柳澤孝旨 (TEL) 043-213-5171  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,536	18.7	2,873	75.7	2,880	76.6	1,835	84.0
25年3月期第1四半期	7,191	6.6	1,635	△5.0	1,630	△4.9	997	△14.5

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,889百万円(90.0%) 25年3月期第1四半期 994百万円(△14.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第1四半期	17	17	17	16
25年3月期第1四半期	9	08	9	07

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	24,123		13,594		54.7	
25年3月期	23,873		12,773		52.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,201百万円 25年3月期 12,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	36,800	5.0	10,320	21.0	10,320	20.4	6,320	17.9	59	13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	109,885,500株	25年3月期	109,885,500株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	3,000,000株	25年3月期	3,000,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	106,885,500株	25年3月期1Q	109,876,658株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付P.5「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成25年7月31日(水)・・・期間投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	前年同期比
商品取扱高	19,140 (100.0%)	24,309 (100.0%)	+27.0%
売上高	7,191 (37.6%)	8,536 (35.1%)	+18.7%
営業利益	1,635 (8.5%)	2,873 (11.8%)	+75.7%
経常利益	1,630 (8.5%)	2,880 (11.9%)	+76.6%
四半期純利益	997 (5.2%)	1,835 (7.6%)	+84.0%

( ) 内は商品取扱高に対する割合です。

当社グループは「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、日本最大級のファッションECサイト「ZOZOTOWN」の運営を中心に事業活動を行っております。輸出環境の好転や金融政策への積極的な取り組みなどを受け、企業収益の改善に対する期待が高まる中、当社グループが軸足を置く衣料品・アクセサリ市場においても、個人消費持ち直しの気運を背景に緩やかながらも回復傾向が鮮明となりつつあります。ファッションEC市場においても、ブランド及びユーザーとファッションECとの親和性が高まり、ファッションECでの消費活動が一般化しつつあることから、引き続き高い成長を実現させております。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間における当社グループは、ユーザーへのサービス向上を図るとともに、商品供給の強化（潜在需要に対応した在庫の確保、ターゲット顧客層や中心価格帯の異なる様々なショップの出店など）を推し進めることで、商品取扱高の拡大に注力してまいりました。加えて、前期は7月以降に開始したサマーセールを、当期では6月28日より開始したことも、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高の増加に寄与しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は24,309百万円（前年同期比27.0%増）、売上高は8,536百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

利益面においては、全商品送料無料化（平成24年11月開始）による運賃収入の減少により、売上総利益率（対商品取扱高）が前年同期比1.1%低下いたしました。しかしながら、プロモーション戦略を抜本的に見直し、プロモーション関連費率（対商品取扱高）を前年同期比3.4%低下させたことなどを理由に、営業利益率（対商品取扱高）は前年同期比3.3%上昇し11.8%となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は2,873百万円（前年同期比75.7%増）、経常利益は2,880百万円（前年同期比76.6%増）、四半期純利益は1,835百万円（前年同期比84.0%増）となりました。

当連結会計年度は「真面目」「感動」「カッコいい」をキーワードに、ユーザーとブランド双方にとってより一層魅力的なサイト作りに邁進し続け、ファッションEC拡大にとって必要不可欠な「年間利用者数の拡大」「取扱いブランドの拡大と既存ブランドとの関係強化」を両輪として、商品取扱高の拡大に務めております。

当第1四半期連結累計期間において、新規サービス「WEAR」のティザーサイトを開設致しました。同サービスは、「WEAR FOR CONNECTION（世界を服でつなげよう）」をテーマに、服を通したコミュニケーションを楽しんでいただいたり、ショッピングやコーディネートに参考にしていただける、スマートフォンを主軸としたファッション特化型のサービスです。現在、8～9月のサービスインに向けて準備をしております。

当社グループは前連結会計年度において、報告セグメントを変更しており、単一セグメントとなったため、セグメント別の記載を省略しております。

なお、単一セグメント内の各事業別の業績は以下のとおりです。

前年同期との比較は前年同期の数値を変更後の区分に組み替えて行っております。

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)			取扱高 前年同期比 (%)	売上高 前年同期比 (%)
	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	取扱高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)		
ZOZO事業								
(買取ショップ)	1,646	8.6	1,646	1,987	8.2	1,987	+20.8	+20.8
(受託ショップ)	15,231	79.6	4,210	18,973	78.0	5,249	+24.6	+24.7
小計	16,878	88.2	5,856	20,961	86.2	7,237	+24.2	+23.6
自社EC支援事業	2,262	11.8	596	3,347	13.8	881	+48.0	+47.7
その他	—	—	738	—	—	417	—	-43.4
合計	19,140	100.0	7,191	24,309	100.0	8,536	+27.0	+18.7

#### ① ZOZO事業

ZOZO事業は、当社が各ブランドからファッション商材を仕入れ、自社在庫を持ちながら販売を行う「買取ショップ事業」と、当社が各ブランドの商品を受託在庫として預かり、受託販売を行う「受託ショップ事業」の2つの事業形態で構成されております。

当第1四半期連結累計期間においては、前期まで積極的に行ってきた様々なプロモーション戦略に関して抜本的に見直しを行い、原点回帰をキーワードに魅力的なサイト作りに注力してまいりました。

その結果、平成25年6月時点の年間購入者数(平成24年7月～平成25年6月)は2,657,467人(前第1四半期末比598,936人増)となりました。

さらに、ファッションECサイトの運営において購入者数と同じく重要な要素である商品供給力についても、積極的な強化を行ってまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、「MAISON DE REEFUR」「eYe COMME des GARCONS JUNYA WATANABE MAN」「LagunaMoon」「SNOOPY」「DKNY」等24ショップが新規出店致しました。平成25年6月末現在の総ショップ数は「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて514ショップとなり、一層幅広い顧客層のニーズに応え得るブランドラインアップを実現することが出来ました。

以上の結果、ZOZO事業の商品取扱高は20,961百万円(前年同期比24.2%増)、売上高は7,237百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

買取ショップ事業及び受託ショップ事業の実績は以下のとおりです。

i. 買取ショップ事業

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は1,987百万円(前年同期比20.8%増)、商品取扱高に占める割合は8.2%となりました。売上高は商品取扱高と同額の1,987百万円(前年同期比20.8%増)となりました。平成25年6月末現在、買取ショップ事業では40ショップ(平成25年3月末40ショップ)を運営しております。

ii. 受託ショップ事業

当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は18,973百万円(前年同期比24.6%増)、商品取扱高に占める割合は78.0%となりました。売上高(受託販売手数料)は5,249百万円(前年同期比24.7%増)となりました。平成25年6月末現在、受託ショップ事業では474ショップ(平成25年3月末452ショップ)を運営しております。

② 自社EC支援事業

自社EC支援事業では、ブランドの自社ECサイトを受託・運営しております。当第1四半期連結累計期間の商品取扱高は3,347百万円(前年同期比48.0%増)、商品取扱高に占める割合は13.8%となりました。売上高(受託販売手数料)は881百万円(前年同期比47.7%増)となりました。当第1四半期連結累計期間において新たに「BIRKENSTOCK JAPAN ONLINE」「GOCART ONLINE SHOP」「coen ONLINE SHOP」の3サイトの構築及び運営受託を開始したことに加え、ファッションECに対するユーザーの認知度が高まってきたことを受け、各ブランドが自社ECへの取り組み姿勢を一層積極化させたことが増収の背景となっております。平成25年6月末現在、自社EC支援事業では27サイトの構築及び運営を受託しております。

③ その他

その他にはEC事業に付随した事業(代引手数料収入、テナント出店の際の初期出店料など)が計上されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他売上高は417百万円(前年同期比43.4%減)となりました。平成24年11月より全商品送料無料化を実施したことに伴い、送料収入が減少したことが減収の主要因となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ351百万円減少(前連結会計年度末比1.7%減)し、20,304百万円となりました。主な増減要因としては、売掛金の増加964百万円、配当金の支払いや法人税等の納付により現金及び預金が1,191百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ601百万円増加(前連結会計年度末比18.7%増)し、3,819百万円となりました。主な増減要因としては、平成25年10月に稼働を予定している物流施設への設備投資に伴う建設仮勘定の増加624百万円によるものであります。

以上の結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、24,123百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ610百万円減少(前連結会計年度末比5.9%減)し、9,815百万円となりました。主な増減要因としては、受託販売預り金の増加645百万円、買掛金の減少388百万円、ポイント引当金の減少136百万円、未払法人税等の減少682百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加(前連結会計年度末比5.9%増)し、713百万円となりました。主な増減要因としては、退職給付引当金の増加30百万円によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて5.1%減少し10,529百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ821百万円増加(前連結会計年度末比6.4%増)し、13,594百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,835百万円、剰余金の配当による減少1,068百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月25日に発表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想数値に変更はありません。

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、商品取扱高108,400百万円(前期実績比13.0%増)、売上高36,800百万円(同5.0%増)、営業利益10,320百万円(前期実績比21.0%増)、経常利益10,320百万円(前期実績比20.4%増)、当期純利益6,320百万円(前期実績比17.9%増)を見込んでおります。

平成24年末の政権交代以降、日本政府や日本銀行の積極的な景気対策が功を奏していることもあり、日本経済の先行きには明るさが増してきた感があります。しかしながら、日本の人口減少や少子高齢化が日本経済に与える影響、消費者ニーズの多様化など、中長期的には多くの課題が残されており、楽観視できるような状況にはないと受け止めております。

そのような状況の中、当社グループでは「真面目」「感動」「カッコいい」をキーワードに、ユーザーとブランド双方にとってより一層魅力的なサイト作りに邁進し続け、ファッションEC拡大にとって必要不可欠な「年間利用者数の拡大」「取扱いブランドの拡大と既存ブランドとの関係強化」を両輪として、取扱高のさらなる拡大を目指します。

一方で、物流及びシステムのインフラに関しましても、これまでどおり逐次増強を行ってまいります。平成25年10月には新たな物流拠点の稼働を予定しております。これにより年間商品取扱高3,000～4,000億円に耐えうる物流機能が確立されることとなります。

新物流拠点の稼働に伴い固定費率が上昇いたしますが、商品取扱高に対する営業利益率向上を意識し、効果的なプロモーションや効率的なフルフィルメントの実現を通じて、当期を上回る収益性を達成してまいります。

なお、現段階で平成26年3月期に行う予定の新プロモーション等は非常に流動的であり、効果及び費用を論理的に算定することが困難なため、連結業績予想には当該施策の影響を織り込まず、自律成長を前提として作成しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,037,622	10,845,832
売掛金	6,534,440	7,499,116
商品	1,276,948	1,072,021
その他	806,792	887,078
流動資産合計	20,655,805	20,304,049
固定資産		
有形固定資産	1,538,392	2,153,711
無形固定資産		
のれん	490,270	452,557
その他	235,667	267,581
無形固定資産合計	725,938	720,139
投資その他の資産	953,014	945,411
固定資産合計	3,217,345	3,819,261
資産合計	23,873,150	24,123,311
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	650,903	262,107
受託販売預り金	5,444,023	6,089,324
未払法人税等	1,791,504	1,108,527
賞与引当金	169,549	265,150
ポイント引当金	720,840	583,988
返品調整引当金	27,404	26,971
事業整理損失引当金	42,992	10,920
その他	1,579,259	1,468,659
流動負債合計	10,426,477	9,815,649
固定負債		
退職給付引当金	442,412	473,265
資産除去債務	116,956	126,170
その他	114,101	113,944
固定負債合計	673,469	713,379
負債合計	11,099,947	10,529,028
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,359,665	1,359,665
資本剰余金	1,327,850	1,327,850
利益剰余金	13,358,951	14,125,687
自己株式	△3,660,588	△3,660,588
株主資本合計	12,385,878	13,152,614
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26,981	49,377
その他の包括利益累計額合計	26,981	49,377
新株予約権	2,561	2,561
少数株主持分	357,782	389,729
純資産合計	12,773,203	13,594,282
負債純資産合計	23,873,150	24,123,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,191,797	8,536,137
売上原価	1,403,956	1,479,605
売上総利益	5,787,840	7,056,532
返品調整引当金戻入額	—	27,404
返品調整引当金繰入額	21,305	26,971
差引売上総利益	5,766,535	7,056,965
販売費及び一般管理費	4,130,950	4,183,155
営業利益	1,635,584	2,873,809
営業外収益		
受取利息	1,804	782
為替差益	—	3,138
その他	1,974	3,018
営業外収益合計	3,778	6,939
営業外費用		
為替差損	8,377	—
営業外費用合計	8,377	—
経常利益	1,630,986	2,880,748
特別損失		
固定資産除売却損	9,796	4,272
特別損失合計	9,796	4,272
税金等調整前四半期純利益	1,621,190	2,876,476
法人税、住民税及び事業税	686,087	1,090,919
法人税等調整額	△20,723	△50,034
法人税等合計	665,364	1,040,885
少数株主損益調整前四半期純利益	955,825	1,835,591
少数株主損失(△)	△41,816	—
四半期純利益	997,641	1,835,591

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	955,825	1,835,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,401	—
為替換算調整勘定	36,547	54,343
その他の包括利益合計	38,949	54,343
四半期包括利益	994,775	1,889,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,019,318	1,857,987
少数株主に係る四半期包括利益	△24,543	31,946

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

簡易株式交換による株式会社ブラケットの完全子会社化

当社は、平成25年7月16日開催の当社の取締役会において、当社を完全親会社、株式会社ブラケットを完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を実施することを決議し、同日付で株式会社ブラケットとの間で株式交換契約を締結いたしました。

1. 本株式交換の目的

当社は、「世界中をカッコよく、世界中に笑顔を。」という企業理念のもと、日本最大級のファッションECサイト「ZOZOTOWN」の運営を中心に事業活動を行っております。

株式会社ブラケットは、誰でも簡単にオンラインストアを作ることができるサービス「STORES.jp（ストアーズ・ドット・ジーピー）」を主力サービスとして展開しており、2012年9月のサービス開始から累計約4万のオンラインストアが開設されています。

現在、STORES.jpで開設されるオンラインストアの約70%がアパレルカテゴリー関連のストアであることや、出店者様からの販売支援および物流サービスに対する需要が高まっていることなどから、両社のシステム基盤やサービス体制を連携させることで、さらなる拡大成長を実現できると考え、株式交換の合意に至りました。

2. 本株式交換の概要

(1) 本株式交換の日程

株式交換契約承認取締役会決議（当社）	平成25年7月16日
株式交換契約承認取締役決議（ブラケット）	平成25年7月16日
株式交換契約締結日（両社）	平成25年7月16日
株式交換承認株主総会（ブラケット）	平成25年7月16日
株式交換実施日（効力発生日）	平成25年8月15日（予定）

(注) 当社は、会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、株主総会の承認を受けずに本株式交換を行う予定です。

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、ブラケットを株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、当社については会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより株主総会の承認を得ずに、ブラケットについては平成25年7月16日開催の臨時株主総会の決議による承認を受けた上で、平成25年8月15日を効力発生日として行う予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	株式会社スタートトゥデイ (株式交換完全親会社)	株式会社ブラケット (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	350

(注) 1. 本株式交換に係る割当ての比率

ブラケットの普通株式1株に対して、当社の普通株式350株を割当て交付いたします。

なお、本株式交換実施前において、当社はブラケットの株式を保有しておりません。

2. 本株式交換により交付する当社の株式

当社は、本株式交換により315,000株(予定)を割当て交付いたしますが、交付する株式は保有する自己株式を充当する予定であり、新株式の発行を行わない予定です。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

本株式交換における株式交換比率の算定の前提となる株式価値について、当社の株式価値については市場価格法により算定し、ブラケットの株式価値については、公正性・妥当性を担保するために第三者算定機関によるディスカунテッド・キャッシュ・フロー法を用いて算出いたしました。当該算定結果を参考として、両社間で慎重に交渉および協議を行った結果、前記2.(3)に記載した株式交換比率が妥当であると判断いたしました。

4. 本株式交換の当事会社の概要

	株式交換完全親会社	株式交換完全子会社
(1) 名称	株式会社スタートトゥデイ	株式会社ブラケット
(2) 所在地	千葉県美浜区中瀬二丁目6番地1	東京都渋谷区渋谷一丁目17番1号T O C 第二ビル
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 前澤 友作	代表取締役 光本 勇介
(4) 事業内容	ファッション通販サイト「Zozotown」を中心としたECサイトの運営及びその他ファッション関連サービスの展開	インターネットビジネスの企画・開発・運営
(5) 資本金	1,359百万円	9百万円
(6) 設立年月日	平成10年5月21日	平成20年10月10日
(7) 発行済株式数	109,885,500株	900株
(8) 決算期	3月31日	9月30日
(9) 大株主及び持株比率	前澤 友作 48.6% シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー 5.4%	光本 勇介 100.0%
(10) 直前事業年度の財政状態及び経営成績		
決算期	平成25年3月期(連結)	平成24年9月期(単体)
純資産	12,773百万円	8百万円
総資産	23,873百万円	38百万円
1株当たり純資産	116円13銭	9,228円95銭
売上高	35,050百万円	118百万円
営業利益	8,529百万円	0百万円
経常利益	8,570百万円	0百万円
当期純利益	5,360百万円	0百万円
1株当たり当期純利益	49円58銭	505円87銭

5. 本株式交換後の状況

本株式交換後の株式交換完全親会社である当社の名称、本店所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期については、上記「4. 本株式交換の当事会社の概要」に記載の内容から変更はありません。